



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月12日

上場会社名 ネオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3627 URL http://www.neoscorp.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 昌史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員企画部長 (氏名) 中野 隆司 TEL (03)5209-1590
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	2,121	31.0	141	163.0	157	148.5	86	—
25年2月期第1四半期	1,619	15.8	53	△59.2	63	△51.9	△274	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 87百万円 (—%) 25年2月期第1四半期 △277百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	1,116.43	1,096.24
25年2月期第1四半期	△3,539.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	3,898	3,044	77.0	38,622.65
25年2月期	3,707	2,989	79.5	37,928.27

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 3,000百万円 25年2月期 2,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	450.00	450.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	450.00	450.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	10.4	420	32.1	420	15.1	210	—	2,703.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社では、激変する携帯電話業界の構造変化に柔軟に対応するため、グループ経営の強化に取り組んでおります。また、現在、携帯電話業界は、非常に速いスピードで構造変化が進行しつつあり、短期的な業績動向については変動要素が多いため、当社では、年間ベースでの業績管理に重点をおいた経営管理を強化しています。

これらを踏まえ、現在、当社グループの業績予想については、連結業績に関する年間業績の開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期1Q	77,688株	25年2月期	77,688株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	一株	25年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期1Q	77,688株	25年2月期1Q	77,622株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業績等の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自平成25年3月1日 至平成25年5月31日）における日本経済は、政府主導による経済対策や日本銀行の大幅な金融緩和等により、株式市場の活況や大幅な円安の進行等で景気浮揚感が増し、本格的な景気回復が期待されております。しかしながら、海外景気の下振れや為替レートの変動等のグローバルなリスク要因も依然存在しており、手放しでの景気回復を期待するまでには至っていない状況にあります。

携帯電話市場においては、2013年度の総出荷台数が4,220万台（前年度比0.9%増）、そのうちスマートフォンは8割にせまる3,240万台と予測されています。また、契約比率においても2014年度中にはスマートフォン契約数が過半数に達する見通しで（出典：MM総研[東京・港]）、スマートフォンの浸透は、マジョリティ層にまで広がりつつあります。

このような状況の中、フィーチャーフォンのサービス利用者は大きく減少し、一方で、スマートフォンサービスの利用者は急速な勢いで立ち上がりつつあります。但し、これまでのフィーチャーフォンサービスがスマートフォンサービスに単純に移行しているのではなく、アップルのApp store、グーグルのGoogle play ストア、NTTドコモのdマーケット、KDDIのauスマートパス等のビッグプレイヤーのサービスプラットフォームの上で新たにスマートフォンに適合した形でコンテンツやサービスが生み出されている状況にあるといえます。

当社グループでは、このような時代の流れ、市場の変化に的確に対応し、携帯キャリアなどビッグプレイヤーに向けたソリューション提案に注力し、エンドユーザーに対するさまざまなサービス開発を多方面からサポートしております。また、プロダクト&サービス事業においては、新しい展開としてNTTドコモ向けに、家庭用テレビでスマートフォンコンテンツを楽しむことができる『SmartTV dstick 01』の発売を3月に行い、本格的な出荷を開始しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,121,425千円（前年同四半期比31.0%増）、営業利益141,900千円（前年同四半期比163.0%増）、経常利益157,892千円（前年同四半期比148.5%増）、純利益86,733千円（前年同四半期は274,731千円の純損失）と、大幅な拡大を達成しました。

なお、ネオスグループでは、中期経営計画を策定し、2015年度に、売上高100億円超、経常利益率10%超を経営目標として掲げました。「スマート革命」という概念を基軸に、「クラウド」と「デバイス」という弊社が培ってきた技術の上に、今回発売した「dstick」のような新しいプロダクト&サービスを創出していくことが、骨子となっております。モバイルインターネット市場においては、新しいサービスが次々と花開き、次なる成長段階へと突入していくことが予想されます。ネオスグループでは、的確で迅速な判断のもと事業を推進し、さらなる拡大に注力していく所存であります。

以下、事業別の動向について述べます。

<ソリューション事業>

当第1四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は1,143,366千円（前年同四半期比26.6%増）と大きく増加しました。

ソリューション事業においては、携帯キャリアを中心としたビッグプレイヤーに対するシステム構築、アプリ開発、コンテンツ制作、サービス運用までの一貫したソリューション力を活かし、積極的な展開を図り、順調に実績を積み上げております。

また、3月1日には、海外のモバイル業界でその技術力を非常に高く評価されている韓国のNemustech社と、合弁会社「ネマステックジャパン株式会社」を設立し、当社の顧客である携帯電話キャリアや端末メーカー等に向けてNemustech社の技術を活用したコンサルティングや製品及びサービス開発の支援を開始しております。

法人向けソリューションにおいても、スマートフォン、タブレット向けソリューションを軸とした営業拡大を図っており、順調に受注が拡大しております。

<プロダクト&サービス事業>

当第1四半期連結累計期間におけるプロダクト&サービス事業の売上高は978,058千円（前年同四半期比36.6%増）と大幅な拡大となりました。

プロダクト&サービス事業においては、スマートデバイス時代の進展を捉え、テレビに差すだけでスマートフォンコンテンツの再生が可能になるハードウェア、「dstick」事業の展開を本格的に開始しており、順調に推移しております。

ライセンスプロダクトにおいても、次世代デコメエンジン『アニエモ』、UI描画エンジン『MatrixEngine』、音質向上ソフトウェア『Audyssy』等のライセンス展開が、堅調に推移しております。

サービス系事業は、これまでフィーチャーフォンの落ち込みが急な一方、スマートフォン向けサービスは、立ち上がりが緩慢な状況にありましたが、スマートフォンのマジョリティ層への浸透にともない、主軸のコミック、ヘルスケア、キャラクターの3サービスとも、漸く離陸が始まっております。

キャラクターサービスにおいては、アプリ・ライブ壁紙・デコレーション素材など100種を超えるコンテンツが使い放題で楽しめるファンサイトサービスを推進しており、現在、『We love Suzy's Zoo』、『LOVE♥水森亜土』、『ウサビッチスマホの時間』の3サービスをリリースし、順次、拡大しております。また、新しい試みとして、メッセージサービス『LINE（ライン）』内の「スタンプショップ」で、『水森亜土』のスタンプ配信を開始し、人気を博しています。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,898,765千円となり、前連結会計年度末に比べ191,734千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が300,188千円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は853,784千円となり、前連結会計年度末に比べ135,795千円増加いたしました。これは主に買掛金が104,109千円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,044,981千円となり、前連結会計年度末に比べ55,938千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が51,773千円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月期の業績予想につきましては、平成25年4月9日の「平成25年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。なお、当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したネマステックジャパン株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,033,298	1,333,486
受取手形及び売掛金	1,022,552	1,004,387
仕掛品	103,458	41,401
その他	384,301	350,928
流動資産合計	2,543,611	2,730,204
固定資産		
有形固定資産	163,297	161,909
無形固定資産		
のれん	135,052	123,402
ソフトウェア	339,802	297,093
その他	59,830	114,541
無形固定資産合計	534,685	535,036
投資その他の資産		
その他	468,949	488,777
貸倒引当金	△3,512	△17,162
投資その他の資産合計	465,437	471,615
固定資産合計	1,163,420	1,168,561
資産合計	3,707,031	3,898,765
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	280,438	384,548
未払法人税等	2,332	10,852
賞与引当金	196,828	85,400
ポイント引当金	5,796	5,016
その他	195,339	330,554
流動負債合計	680,735	816,371
固定負債		
資産除去債務	37,253	37,412
固定負債合計	37,253	37,412
負債合計	717,988	853,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	950,148	950,148
資本剰余金	940,148	940,148
利益剰余金	1,056,280	1,108,054
株主資本合計	2,946,577	2,998,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6	2,164
その他の包括利益累計額合計	△6	2,164
新株予約権	39,702	40,953
少数株主持分	2,769	3,511
純資産合計	2,989,043	3,044,981
負債純資産合計	3,707,031	3,898,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	1,619,186	2,121,425
売上原価	1,195,564	1,493,593
売上総利益	423,621	627,831
販売費及び一般管理費	369,674	485,931
営業利益	53,947	141,900
営業外収益		
為替差益	—	13,801
その他	12,435	2,935
営業外収益合計	12,435	16,737
営業外費用		
支払利息	70	—
株式交付費	618	—
為替差損	2,010	—
創立費償却	—	375
開業費償却	—	370
その他	137	—
営業外費用合計	2,836	745
経常利益	63,546	157,892
特別損失		
投資有価証券評価損	2,999	—
減損損失	347,727	—
持分変動損失	15,341	—
合併関連費用	15,190	—
特別損失合計	381,259	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△317,712	157,892
法人税、住民税及び事業税	50,477	7,371
法人税等調整額	△93,283	65,175
法人税等合計	△42,805	72,547
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△274,907	85,345
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△175	△1,388
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△274,731	86,733

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△274,907	85,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,390	2,171
その他の包括利益合計	△2,390	2,171
四半期包括利益	△277,297	87,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△277,122	88,904
少数株主に係る四半期包括利益	△175	△1,388

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。